

大磯町 まちづくり基本計画

令和3年3月





伊勢原市
伊勢原町
秦野市
大磯町
二宮町
西湘バイパス
大磯駅
千鳥敷
鷹取山
・219
中部
海蔵新幹線
津塚市

大磯町 まちづくり基本計画

令和3年3月

ごあいさつ

私たちの大磯、このまちは、神奈川県が全国に誇る湘南、相模湾を臨むこの地域のちょうどまんなかに位置する小さな町です。小さな町ですが、ここには日本を語るうえでも重要な様々な歴史が詰まっています。まちの皆さんもよくご存じのことです。



なぜ大磯はこのような町になったのか。商業も盛んであった宿場には、時の旅人たちが疲れを癒したことでしょう。また、時の大将が「大日本帝国憲法」草案作成の思案にふけたり、時の首相が、戦後の日本をいかに立ち上げるか決断したことでしょう。この松林から臨む紺碧の海原、背後に仰ぎみる深緑の丘陵、そして、その先には箱根連山と霊峰富士。時代こそ違いますが、おそらく彼らは、同じ景色を眺めて、同じ人情を感じていたに違いありません。

私が申し上げたいことは、この大磯の歴史を振り返ったときに、そこにあったものが大磯を創ったということです。この山と海の幸に恵まれた環境を求め、外から人が集まり、それをまちの皆さんが迎え入れてきたからこそ築かれた歴史であり、いにしえを生んできた証拠だということです。そして、それが今も受け継がれていること、まちの皆さんがこの大磯を愛し守ってきたこと、まさに持続可能な社会がこの町にはあります。このことは誇りであり、将来に向けて歩いていくうえでの糧であります。

平成18年にこの計画をつくった当初から、見据える「まちの将来像」は変わりません。それどころか第1次大磯町総合計画を定めた昭和48年から変わっていないのです。これは何もしないということではありません、今のこの大磯を将来に渡し受け継いでいくために、守り育み生かさねばならないのです。

これからのまちづくりは、まちに暮らす皆さん一人ひとりの主体性を尊重することが大切であり、異なる地域らしさや、そこに住まう多様な人材、それはまちの宝。この「まちづくり基本計画」には、そんな思いを込めています。まちの皆さん一人ひとりが集結し、知恵と力を出し合い、一緒にまちの将来を創っていかうではありませんか。

この計画を策定するにあたり、ワークショップをはじめとする多くのまちの皆様から意見を頂きました。また、大磯町まちづくり審議会及び大磯町都市計画審議会の委員の皆様にも議論を交わして頂きました。みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。

さあ、この計画を手に取り、さっそく始めましょう。

令和3年3月

大磯町長

中山 久雄

目 次

第1章 まちづくり基本計画とは	2
1-1 まちづくり基本計画策定の趣旨.....	2
1-2 まちづくり基本計画の位置づけ.....	2
1-3 まちづくり基本計画の構成	3
1-4 まちづくり基本計画の策定の体系.....	4
1-5 まちづくり基本計画の役割	4
1-6 まちづくり基本計画とまちづくり条例との関係.....	4
1-7 上位・関連計画	6
第2章 現況と課題	8
2-1 現況と課題	8
2-2 町民意向調査結果	23
2-3 町民ワークショップ	25
2-4 まちづくりの課題	27
2-5 課題の対応の方向性	28
2-6 計画策定の基本的な考え方	30
第3章 全体構想.....	32
3-1 まちの将来像とまちづくりの基本理念.....	32
3-2 大磯らしさを守り育む方針	39
3-3 全体構想.....	40
3-4 自治のまちづくりの考え方	59
第4章 地域別構想	62
4-1 地域別構想の区分	62
4-2 大磯地域	63
4-3 小磯地域	75
4-4 国府南地域	87
4-5 国府北地域	99
第5章 まちづくり基本計画の推進に向けて.....	112
資料編	119